

2021 年 5 月 20 日

報道関係 各位

連合 医療・介護従事者向けアンケート 調査結果

日本労働組合総連合会(略称:連合、所在地:東京都千代田区、会長:神津 里季生)は、新型コロナウイルス拡大が長期化する中で、医療・介護現場の実態は働く仲間の生の声を集約するため、医療・介護フェス 2021～安心と信頼の医療と介護 中央集会～の開催に向けて、標記調査を 2021 年 4 月 26 日～5 月 13 日の間、医療・介護従事者を対象に、事前アンケートを実施しました。

【調査結果のポイント】

- ◆ 一般の方からの回答を含め、全体で 3258 人が回答 …P2
- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響にかかわらず
 - ・ 医療現場では「業務量が多い」ことに課題
 - ・ 介護現場では「人手不足」や「低賃金」が問題 …P3
- ◆ 感染症拡大の影響で、多くの医療・介護現場で「感染しない、感染させないために行動制限がされている」 …P4
- ◆ 今求めることは、「命を預かる働きに見合った報酬(手当)」
また、介護現場からは「介護従事者のワクチンの早期接種」を求める声 …P5
- ◆ 国や行政に対しては、人材確保や賃金・手当・慰労金を求める声、
心身の疲労の訴えに加え、現場の声を聞いてほしいなど多数の意見 …P6
- ◆ 医療・介護従事者が「声を大にして言いたいこと」として、
患者・利用者に十分な医療やケアなどのサービスを提供できていない実情、
勤務環境の過酷さ、医療・介護従事者とその家族に対する偏見・差別を
しないよう求める声 …P8

設問項目

- 【設問1】 職場を教えてください
- 【設問2】 職種を教えてください
- 【設問3】 新型コロナにかかわらず、医療・介護現場において、問題・大変だと思うことは何ですか(複数回答可)
- 【設問4】 新型コロナの拡大で、勤務環境に変化はありましたか(複数回答)
- 【設問5】 今求めているものは何ですか(上位 3 つまで)
- 【設問6】 国や行政に訴えたいことをご自由にお書きください
- 【設問7】 声を大にして言いたいことをご自由にお書きください

調査結果詳細
【職場】

	人数	割合
病院・診療所	1543	47.36%
訪問系介護サービス	322	9.88%
施設・通所系介護サービス	1352	41.56%
その他	41	1.26%
合計	3258	100.0%

【職種】

	人数	割合
医師	5	0.15%
看護師	1327	40.73%
技術職	105	3.22%
事務職(窓口業務含む)	135	4.14%
介護福祉士	935	28.70%
ホームヘルパー	89	2.73%
ケアマネジャー	102	3.13%
保健師	11	0.34%
薬剤師	17	0.52%
OT・PT・ST	103	3.16%
看護助手	71	2.18%
介護スタッフ	208	6.38%
その他	150	4.60%
合計	3258	100.0%

その他…臨床工学技士(CE、ME)、医療ソーシャルワーカー(MSW)、ソーシャルワーカー、オペ室に物品を搬送する仕事、あんまマッサージ指圧師、経営者、運営、音楽療法士、看護学校、管理栄養士、救急救命士、検体集荷、施設長、歯科栄養士、歯科事務、歯科助手、児童発達支援管理責任者、柔道整復士、助産師、心理士、清掃スタッフ、生活支援員、生活相談員、精神保健福祉士、相談支援専門員、調理師、調理スタッフ、通院同行、訪問マッサージ、薬剤師、調剤助手、薬品メッセンジャーなど

■設問ごとの回答状況

【設問3】 新型コロナにかかわらず、医療・介護現場において、問題・大変だと思うことは何ですか(複数回答可)

医療現場では、「業務量が多い」が73.4%で最多回答となりました。次いで、「人手不足」(71.5%)が続きました。新型コロナウイルス感染症の影響にかかわらず、業務負担が大きい状況が浮かび上がりました。介護現場と比較した場合、医療現場では「夜勤が多い」(15.1%)の回答割合が多く出ています。医療現場では、人手不足と相まって、夜勤をはじめとする業務負担の重さが課題であることがうかがえます。

「その他」の回答では、「自己の体調不良時にも休みをもらうことが心苦しい」などといったコメントが寄せられました。

	医療		n=1543
1. 業務量が多い	1132	73.4%	
2. 時間外労働が多い	681	44.1%	
3. 夜勤が多い	233	15.1%	
4. 休みが取りにくい	663	43.0%	
5. 低賃金	776	50.3%	
6. 人手不足	1103	71.5%	
7. パワハラ等のハラスメント	346	22.4%	
8. 患者・利用者またその家族からの暴力等のパワハラ・セクハラ等	378	24.5%	
9. その他	68	4.4%	

また、介護現場を施設・通所系サービスと訪問系サービスで分けて集計した結果、施設・通所系サービスでは「人手不足」が79.3%と最も多い回答となりました。次いで、「低賃金」(70.6%)、「業務量が多い」(59.8%)が続きました。訪問系サービスでは、「低賃金」の63.0%を筆頭に、「業務量が多い」(62.7%)、「人手不足」(61.2%)が6割を超す回答となりました。

介護現場では、人手不足の問題もさることながら、この間、処遇改善が行われてきているものの、依然として命と暮らしを守る仕事に見合った賃金水準とはほど遠い実態にあることが浮かびあがりました。

	介護(施設・通所系)		n=1352	介護(訪問系)		n=322
1. 業務量が多い	809	59.8%		202	62.7%	
2. 時間外労働が多い	354	26.2%		109	33.9%	
3. 夜勤が多い	108	8.0%		9	2.8%	
4. 休みが取りにくい	538	39.8%		145	45.0%	
5. 低賃金	954	70.6%		203	63.0%	
6. 人手不足	1072	79.3%		197	61.2%	
7. パワハラ等のハラスメント	282	20.9%		59	18.3%	
8. 患者・利用者またその家族からの暴力等のパワハラ・セクハラ等	361	26.7%		86	26.7%	
9. その他	54	4.0%		17	5.3%	

【設問 4】 新型コロナの拡大で、勤務環境に変化はありましたか(複数回答)

医療現場、介護現場ともに、「感染しない、感染させないために行動制限がされている」が約8割となりました。次いで、「感染防御の対応で負担が増えた」、「人手不足」が続きます。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は現場の人手不足・業務負荷増大に拍車をかけています。

また、「医療・介護従事者への差別・偏見が増えた」という声も少なからず挙げられています。医療・介護従事者は、長期にわたる感染対策の強化、自身のコロナへの感染リスクに加え、患者・利用者に感染させないよう行動を抑制している上、自身や家族に対するいわれなき誹謗中傷などにより積み重なる肉体的・精神的負担で疲弊している現状が浮き彫りとなりました。



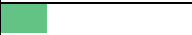
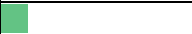
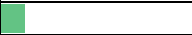




	医療		n=1543
1. 業務量が増えた	837	54.2%	
2. 時間外労働が増えた	404	26.2%	
3. 夜勤が増えた	119	7.7%	
4. 休みが取りにくくなった	395	25.6%	
5. 給料が下がった、ボーナスがカットされた	339	22.0%	
6. 人手不足	815	52.8%	
7. 離職者が増えた	329	21.3%	
8. パワハラ等のハラスメントが増えた	114	7.4%	
9. 医療・介護従事者への差別・偏見が増えた	477	30.9%	
10. 患者・利用者または家族からの暴力等のパワハラ・セクハラ等が増えた	119	7.7%	
11. 感染しない、感染させないために行動制限がされている	1241	80.4%	
12. 感染防御の対応で負担が増えた	1097	71.1%	
13. (以前から大変なので)変わらない	61	4.0%	
14. その他	28	1.8%	

	介護(施設・通所系)	n=1352	介護(訪問系)	n=322
1. 業務量が増えた	549	40.6%	117	36.3%
2. 時間外労働が増えた	166	12.3%	46	14.3%
3. 夜勤が増えた	54	4.0%	2	0.6%
4. 休みが取りにくくなった	313	23.2%	81	25.2%
5. 給料が下がった、ボーナスがカットされた	176	13.0%	46	14.3%
6. 人手不足	671	49.6%	119	37.0%
7. 離職者が増えた	289	21.4%	59	18.3%
8. パワハラ等のハラスメントが増えた	106	7.8%	18	5.6%
9. 医療・介護従事者への差別・偏見が増えた	286	21.2%	94	29.2%
10. 患者・利用者または家族からの暴力等のパワハラ・セクハラ等が増えた	82	6.1%	14	4.3%
11. 感染しない、感染させないために行動制限がされている	1103	81.6%	254	78.9%
12. 感染防御の対応で負担が増えた	911	67.4%	225	69.9%
13. (以前から大変なので)変わらない	129	9.5%	22	6.8%
14. その他	28	2.1%	14	4.3%

【設問5】 今求めているものは何ですか(上位 3 つまで)

医療現場、介護現場ともに、「命を預かる働きに見合った報酬(手当)が欲しい」が 7 割を超え、最多回答となっています。

医療現場では、【設問3】で「人手不足」が問題であると挙げられていることに対応し、「人手不足の解消」が 61.8%と続きました。「休みが欲しい」という回答も 37.1%に上りました。長時間労働削減や勤務間インターバル制度の導入促進をはじめ、ワーク・ライフ・バランス施策の充実により、職員の離職を防ぎ、各サービスの供給量の確保とともに質の向上を実現することが急務となっています。

	医療		n=1543
1. 命を預かる働きに見合った報酬(手当)が欲しい	1174	76.1%	
2. 休みが欲しい	572	37.1%	
3. 感染予防対策グッズ	276	17.9%	
4. パワハラ等のハラスメント改善	163	10.6%	
5. 誹謗中傷(家族含む)への対策	144	9.3%	
6. 人手不足の解消	953	61.8%	
7. 医療・介護従事者のワクチンの早期接種	260	16.9%	
8. 政府、自治体からの正確な情報発信	336	21.8%	
9. その他	35	2.3%	

介護現場(施設・通所系サービス)では、医療現場同様に「人手不足の解消」(62.3%)が続きました。訪問系サービスでも「人手不足の解消」が 4 割を超えています。介護サービス需要の急増が見込まれる中、さらなる処遇改善措置を実施し、人材確保を進めていくことが不可欠です。

なお、介護現場(訪問系サービス)では、「医療・介護従事者のワクチンの早期接種」が 55.9%と 2 番目に多い回答となっています。医療従事者、高齢者に次いで、新型コロナワクチン優先接種の対象となった介護従事者ですが、当初、施設職員のみが対象となっていました。その後、現場からの声を踏まえ、訪問系サービスの従事者も優先接種の対象となりましたが、条件付き(※)となっており、こうした要件の影響も考えられます。

(※)市町村の判断、居宅サービス事業所がサービス提供を行う意向を市町村に登録、従事者が自宅療養中の感染者等にサービス提供を行う意思を有している

	介護(施設・通所系)	n=1352	介護(訪問系)	n=322
1. 命を預かる働きに見合った報酬(手当)が欲しい	1075	79.5%	237	73.6%
2. 休みが欲しい	288	21.3%	63	19.6%
3. 感染予防対策グッズ	291	21.5%	77	23.9%
4. パワハラ等のハラスメント改善	145	10.7%	23	7.1%
5. 誹謗中傷(家族含む)への対策	53	3.9%	24	7.5%
6. 人手不足の解消	842	62.3%	141	43.8%
7. 医療・介護従事者のワクチンの早期接種	623	46.1%	180	55.9%
8. 政府、自治体からの正確な情報発信	269	19.9%	86	26.7%
9. その他	28	2.1%	9	2.8%

【設問 6】 国や行政に訴えたいことをご自由にお書きください

国や行政に対しては、人材確保や賃金・手当・慰労金を求める声、心身の疲弊の訴えに加え、現場の声を聞いてほしいなど、1,851 件もの様々な意見が寄せられました。ワクチン接種については、医療・介護従事者に対する優先接種を求める声が多かったほか、若者・現役世代に対する優先接種、国民全体の速やかな接種のほか、ワクチンに対する不安の声も寄せられました。また、国民の行動制限の強化を求める声も多く寄せられた反面、コロナの医療費については様々な考え方が示されました。そのほか、五輪の中止を求める意見が多く寄せられました。

国や行政に訴えたいこと

<人材確保>

人員不足で、業務ばかりが増え、毎日ヒヤヒヤして仕事している(病院看護師複数)
離職が増え、新規で入社はほとんどありません。コロナで職を失った人たちに対して施設とか病院に就職あっせんしてほしい。身体介護じゃない仕事がたくさんあるのだから(施設・通所系介護福祉士、同事務職)
潜在看護師の活用は正直言ってすぐに現場で働くのは厳しいものがあると思います。即戦力なら、今年3月に退職した看護師に声をかけた方が早いと思います(コロナワクチン接種会場看護師)
施設入居者の方は入院させてくれないことが繰り返しあります。できることが限られて結局スタッフの負担になり退職が増えています(施設・通所系看護師)

<賃金・手当>

コロナ患者を受け入れていない医療機関も感染リスクは存在する。やるが増えているのにボーナスが減って割に合わない。リスクが高すぎる。手当の拡充を(看護師、病院介護スタッフ、病院看護助手、施設・通所系介護福祉士など多数)
慰労金・コロナ手当・危険手当がほしい。モチベーションがもたない。頑張りを認めてほしい(看護師、介護福祉士、介護スタッフ、ホームヘルパー、看護助手、病院技術職など多数)
家族を含め行動制限をずっとされている。その代わりにお金をください。不公平すぎる(介護福祉士、看護師、ケアマネジャー、病院看護助手など複数)
医療・介護従事者も人間です。ロボットではありません。福祉介護系の給料は低すぎる。コロナを機に医療従事者、福祉介護系の給料を見直すべき(訪問看護師、介護福祉士、介護スタッフ、ケアマネジャー、病院音楽療法士など複数)

<心身の疲弊>

休みがほしい。有給が取れない。休みを増やしてほしい(病院スタッフ、介護福祉士、看護師など複数)
疲弊しています。感染対策どうにかしてください。医療・介護従事者ばかり気を遣って遊びにも行かず生活しています。ばかばかしくなってきました(病院看護師、介護福祉士、介護スタッフ、OT・PT・ST など複数)
長期休みと長期旅行と好きなアーティストのライブに行かせてほしい。友達にも会いたい。実家にも帰りたい(病院看護師複数、施設・通所系介護福祉士)
子どもたちにも行動制限をかけていて、介護職員だから仕方ないとなだめているが、本音を言えば映画にも旅行にも外食にもいきたい。GOTO の恩恵が受けられたのは医療・介護従事者以外と思うとやるせない(訪問系介護福祉士、介護士)
自粛によって経済が回らなくなって困る方がいることは理解できるが、緊急事態宣言を出したり解除したらすぐにリバウンドしたりで、医療現場からするとうんざり。こちらも人と会ったり家族に会えず、外食も避けているのに(病院看護師複数)
私たちは奴隷ではない。医療・福祉従事者は声を上げられないほど疲れ切っている(施設・通所系ケアマネジャー、病院看護師)

<ワクチン>

一日でも早くワクチン接種をしてほしい(看護師、介護スタッフ、病院看護助手、同技術職、介護福祉士複数、ホームヘルパー、施設・通所系介護職補助、同施設長、同事務職、同通院同行、同介護スタッフ、ケアマネジャー、診療所歯科衛生士、児童発達支援事業所管理者など多数)

高齢者の前に医療従事者に打たせて。全然回ってこない(看護師、OT・PT・ST、病院看護助手など多数)
訪問介護はハイリスク。ワクチン接種を(訪問介護福祉士、ホームヘルパー、ケアマネジャーなど多数)
ワクチンを全国民に普及させてください(看護師、介護福祉士、病院 OT・PT・ST、薬局技術職など多数)
ワクチン接種はやめてほしい。信用できない。不安です。全員が打ちたいわけではない(介護スタッフ、介護福祉士など複数)
ワクチンを打った後に休みが取れる状況ではないため、打つことが不安で不安でしょうがない。(施設・通所系介護福祉士、病院看護師)
接種後予想どおり高熱がでて倦怠感があるのに休めなかった。副反応の有無にかかわらず接種の翌日は休みとすることを徹底してほしいです(病院看護師)
ワクチンは医療優先ですが、もう締め切ったと言われました。つらすぎる(病院看護助手、同事務職)
高齢者と同時に介護職もワクチン接種するべき(施設・通所系介護福祉士、同介護スタッフ)

＜医療・介護提供体制＞

搬送先のベッドを十分に確保していただきたい。老人ホームでクラスターが発生しても入院先がない。家族にどう説明するんですか？(施設・通所系看護師複数、同相談員)
かかりつけ医を含めコロナ対応できる医療機関を増やしてほしい(訪問系ケアマネジャー複数)

＜国民の行動制限＞

医療従事者は最小限の行動をしているなかコロナ患者が増えると仕事量も増え、精神的・肉体的に悲鳴。
国民の制限強化を(看護師、診療所歯科衛生士、病院事務職、ホームヘルパーなど複数)
ルールを守らない人に血税を使うのは納得できない(介護福祉士、病院看護師、病院技術職など複数)
観光に県外に行きコロナをもらってくる、そういう身勝手な人の看護したくない。看護師のストレスが増え疲弊するばかり。少しは考えて行動してほしい(看護師複数、病院臨床工学技士)

＜オリンピック＞

オリンピックは無理。そんな余裕はない。狂気の沙汰です。中止にして。(看護師、事務職、介護福祉士、病院技術職、保健師、ホームヘルパー、病院看護助手、病院ケアマネジャー、病院救急救命士など多数)
オリンピックのお金を医療ひっ迫やコロナの対策、給付金、人員補充に充ててほしい(薬局事務職、看護師、介護福祉士、病院 MSW、病院事務職など複数)
看護師 500 名要請...現場を知っているのか？看護師に死ねと言っておられるのでしょうか？医療現場から看護師等医療者を奪うな！(看護師複数、介護福祉士)
オリンピックに必要な看護師はきっと確保できます！もっと埋もれた看護師を発掘してください！(病院看護師)

＜情報発信＞

正確な情報がほしい。強化することと過剰防御なことをふりいにかけてもらいたい(介護福祉士、介護スタッフ、病院介護助手など複数)
医療従事者にはクラスターの場所を公表してほしい(病院看護師、ケアマネジャー、訪問介護福祉士)
意味がどっちともとれるような曖昧な言葉で訴えたり、文書を発信しないでほしい。現場が大変です(病院看護師、施設・通所系介護福祉士)

＜行政の役割＞

現場の状況を知ってほしい。現場がどれだけ大変か見てほしい。現場を体験してもらいたい。机上の空論は不要。管理者でなく現場スタッフの声を聞いてください(看護師、介護福祉士、ケアマネジャーなど多数)

＜医療費＞

感染者の治療が無料なのは理解できない(病院技術職、病院看護師、病院事務職など複数)
コロナの治療費を全額負担はやめてほしい(病院看護師)
患者の窓口負担を増やさずもっと診療報酬を上げるべきだ(診療所看護師)

＜安全衛生＞

感染対策の物品が不足している。安定供給を(介護福祉士、病院看護師、診療所助産師)

等

【設問 7】 声を大にして言いたいことをご自由にお書きください

医療・介護従事者が声を大にして言いたいこととして、患者・利用者に十分な医療やケアなどのサービスを提供できていない実情、勤務環境の過酷さ、国民に行動の自省や医療・介護従事者とその家族に対する偏見・差別をしないよう求める声など、設問6に対する回答と共通するものを含め 1,845 件もの声が寄せられました。

声を大にして言いたいこと

医療従事者は使い捨てではない。人だ。ロボットじゃない(病院看護師複数)
 患者さんを家族に面会させられずにごめんなさい(病院看護師)
 私たちはあなたたち(利用者)の奴隷じゃありません！(介護福祉士)
 消防署に勤める救急隊員もどうか医療従事者の一部であると思っていただきたいです(消防署救急救命士)
 医療職者に優しくっていうけど、普通に PTA の役員させられる。おかしくないですか？(病院看護師)
 給付金はなくていいから税金を免除してほしい。住宅ローンの金利を下げてほしい(病院看護師)
 一般病棟からコロナ病棟に行っているが、そもそも一般病棟のスタッフが少ないので、カバーできない。重症者が多く、面会制限のため家族と患者の間の対応など業務量が増え、時間外が多く、インシデントが増えるのは当たり前。上からの優しい言葉もなく、配慮が足りない。入院患者の安全なんて確保できない(病院看護師)
 高リスクを背負って毎日訪問するのは、心身共にかなり負担です(ホームヘルパー)
 大幅な検査の拡充を(訪問看護ステーション看護師)
 早くストレス発散したい(診療所看護師、病院看護師複数)
 医療従事者、家族、特に子供を偏見差別の目で見るのはやめて！(施設・通所系看護師、病院准看護師)
 介護や看護従事者の方がご利用者様から暴言暴力を浴びていることももっと分かっていたきたいです(介護福祉士)
 適当な感染対策をする医療従事者が多すぎる(病院看護師)
 世間の皆様、自分より患しいと思っていますのでしょうか？温度差がありすぎて腹が立ちます。医療現場は使命感だけで働いています(病院看護師複数、病院事務職)
 半年でいいから日本中が出かけるのを我慢すれば感染だって収まるし、そのあとみんなで旅行とかいけば飲食店や旅行会社も助かる。医療従事者はこの1年同じ景色しか見ていない。県外に出て違う景色を見たい！(施設・通所系看護師)
 上に立つ者ほどお手本となってほしい。気のゆるみがコロナをまん延させるのだから(病院看護助手)
 医師、看護師、介護士以外外出禁止にしてほしいです。そしたらディズニーリゾートで遊びたいです(介護福祉士)
 一般の方へ。問い合わせは簡潔に終わらせてください。検査に対する文句は言わないでください(病院事務職)
 独り暮らしの認知症高齢者へのワクチンの知らせが確実に届いているのか不明(介護福祉士)
 たらい回しという言葉が嫌いです。受入れたくても受け入れられないんです。楽しく飲み会してコロナにかかった患者さんを飲み会を我慢して看護しています(病院看護師)
 全ての医師がコロナに対して一生懸命だとは限らない。整形外科医は知らん顔している(診療所看護師)
 全てのクリニックでも発熱外来を当たり前にしていただきたい。でないと、私の所は負担ばかりです(診療所看護師)
 コロナの正しい知識や情報を一般の方々に広く周知してください！(病院事務作業補助者)

等

調査概要

- 【調査タイトル】 連合 医療・介護従事者向けアンケート
【内容】 新型コロナウイルス感染症拡大が長期化する中で、医療・介護現場の実態や働く仲間の生の声を集約するアンケート
【集計期間】 2021年4月26日～5月13日
【調査方法】 Googleアンケート
【対象】 医療・介護に従事する組合員およびその家族・友人
一般の方(医療・介護従事者)
【有効回答数】 3258名

報道関係者の皆様へ

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、「連合調べ」と付記のうえご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

本調査に関するお問い合わせ窓口

連合(日本労働組合総連合会)
総合政策推進局生活福祉局 担当:伊藤・新沼・松田・鈴鹿
TEL : 03-5295-0523(直通)
Mail : jtuc-seikatsu@sv.rengo-net.or.jp
※ お問い合わせはメールにてお願いいたします。

連合(日本労働組合総連合会) 概要

連合(日本労働組合総連合会)は、1989年に結成された日本の労働組合のナショナル・センター(中央労働団体)です。加盟組合員は約700万人。すべての働く人たちのために、雇用と暮らしを守る取り組みを進めています。



連合ホームページはこちら

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/>

